

令和 7 年 度

編入学生募集要項

入 学 案 内



出 願 期 間	検 査 日
令和6年9月9日(月)～ 9月13日(金)	令和6年10月12日(土)

独立行政法人 国立高等専門学校機構
沖縄工業高等専門学校

〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古 905 番地
T E L 0980-55-4028 (学生課教務係)
F A X 0980-55-4012
E - m a i l gkyoumu@okinawa-ct.ac.jp
Web サイト <https://www.okinawa-ct.ac.jp/>

目 次

【学生募集要項】

I	アドミッションポリシー	1
II	募集学科・学年・人員	2
III	出願資格及び志望学科	2
IV	願書受付	3
V	出願手続	4
VI	出願上の注意	5
VII	選考方法	5
VIII	受験上の留意事項	7
IX	判定結果の通知	7
X	入学確約書の提出	7
XI	編入学の時期・年次、修業年限及び修学条件	7
XII	検定料振込方法等について	8
1	振込方法（ゆうちょ銀行以外）	8
2	振込方法（ゆうちょ銀行の場合）	8
3	留意事項	8
XIII	入学者選抜に関する合理的配慮の提供について	9
XIV	個人情報の取扱いについて	9
XV	入学志願についての照会	9

【編入学のための学校案内】

1	創立	10
2	本校の目的	10
3	編入学制度	10
4	修業年限	10
5	教育課程	10
6	学生寮	10
7	高等教育の修学支援新制度	10
8	入学料・授業料・寄宿料の免除及び徴収猶予制度	11
9	奨学金制度	11
10	入学後の所要経費	12

【出願様式等】

- ① 編入学願書
- ② 志望理由書
- ③ 写真票・受験票・検定料払込通知書貼付票
- ④ 検定料振込書
- ⑤ 特別活動等申請書
- ⑥ 所見書
- ⑦ 入学確約書

令和 7 年 度

沖縄工業高等専門学校編入学生募集要項

I 沖縄工業高等専門学校の入学者受け入れ方針（アドミッションポリシー）

沖縄工業高等専門学校（以下、「本校」という。）は、本科5年間にわたる一貫教育をとおして、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とし、以下の4つの教育目標を掲げています。

- （1）技術者に必要な基礎知識を備え、実践力のある人材を育成する
- （2）創造性を備え、自らの考え方を表現できる人材を育成する
- （3）専門的基礎知識を理解し、自ら学ぶことのできる人材を育成する
- （4）広い視野と倫理観を備えた人材を育成する

このため、本校は、次のような人に入学してほしいと考えています。

1 全学科共通のアドミッションポリシー

- （1）理数系分野に興味があり、それらの科目において基礎的な学力を有している人
- （2）責任感と忍耐力を備え、様々な人々との主体的な協働と学びを通じてコミュニケーション能力を高めることができる人
- （3）規則正しい生活と自発的な学習ができる人

【入学者選抜の基本方針】

本校の教育理念に基づき、教育目標に沿った人材を育成するため、以下の方法で入学者選抜を行います。

編入学者選抜

本校への関心があり、高等学校等を卒業後、技術者としての素養を身につけたいと強く希望する志願者に対し、本選抜を実施し、調査書、学力検査及び面接により選抜を行う。

2 各学科独自のアドミッションポリシー

機械システム工学科

- （1）機械やモノづくりに興味のある人
- （2）機械に関する専門知識と技術を修得し、モノづくりによる社会に貢献したい人
- （3）機械の動く仕組みや構造を理解したい人

情報通信システム工学科

- （1）新しい電子機器やソフトウェアに興味のある人
- （2）情報や通信の技術によって社会に貢献したい人
- （3）情報や通信の技術を身につける意欲のある人

メディア情報工学科

- （1）ソフトウェア、コンピュータネットワーク、コンテンツ制作技術に興味のある人
- （2）ソフトウェア、コンピュータネットワーク、コンテンツ制作の技術によって社会に貢献したい人
- （3）ソフトウェア、コンピュータネットワーク、コンテンツ制作の技術を自主的、継続的に学べる人

生物資源工学科

- (1) バイオテクノロジーに興味のある人
- (2) 生物、化学、環境、食品などに関する知識と技術によって社会に貢献したい人
- (3) 生物資源を様々な角度から理解し、知識と技術を身につける意欲のある人

II 募集学科・学年・人員

学 科 名	編入学年次	募 集 人 員
機 械 シ ス テ ム 工 学 科 情 報 通 信 シ ス テ ム 工 学 科 メ デ ィ ア 情 報 工 学 科 生 物 資 源 工 学 科	(注) 第 4 学 年	若 干 名

(注) 機械システム工学科、情報通信システム工学科及び生物資源工学科の編入学年次は、「Ⅶ 選考方法」に基づき選抜を行った結果により、第3学年になることがあります。

III 出願資格及び志望学科

本校への関心があり、高等学校等を卒業後、技術者としての素養を身につけたいと強く希望する志願者に対し、本選抜を実施し、調査書、学力検査及び面接により選抜を行います。

編入学を志願できる者は、次のいずれかに該当する者としします。

- (1) 高等学校の工業、商業、商工、農林及び水産若しくは普通科を卒業した者または令和7年3月卒業見込みの者。
- (2) 中等教育学校を卒業した者または令和7年3月卒業見込みの者。
- (3) 文部科学大臣の定めるところにより、上記(1)及び(2)と同等以上の学力があると認められる者。
- (4) 外国において、学校教育における12年以上の課程（我が国の高等学校教育修了相当）を修了した者及び見込みの者、またはこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した教育機関における課程等を修了した者及び修了見込みの者。ただし、以下のア、イのいずれかを満たしていること。

(ア) 独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」（2022年9月から、2024年9月までに実施のいずれか）の所定の科目を全て受験すること。（出題言語は「日本語」により受験すること。）所定の科目は以下のとおりとする。

①「日本語」 ②「理科」（物理・化学・生物から2科目を選択） ③「数学（コース2）」
--

(イ) 「日本語能力試験」（2022年第2回試験から、2024年第1回試験までに実施のいずれか）において、N2レベル以上の認定を受けていること。

※ 上記(3)または(4)により出願する者は、事前に学生課教務係へ問い合わせてください。

Ⅳ 願書受付

出願書類提出期間	令和6年9月9日（月）9時から9月13日（金）16時まで ※ 郵送の場合も、受付期間内必着とします。
振込受付期間	令和6年9月2日（月）から9月13日（金）16時まで
場 所	〒905-2192 名護市字辺野古905番地 沖縄工業高等専門学校学生課教務係

V 出願手続

志願者は次の書類等を取りまとめ、**本校学生課教務係**へ提出してください。

出願書類等			備 考
志願者が作成するもの	①	編入学願書	本校所定の様式に、裏面の「記入上の注意」をよく読んで必要事項を記入してください。
	②	志望理由書	本校所定の様式に、志願者本人が記入してください。
	③	編入学写真票	本校所定の様式に、「記入上の注意」をよく読んで必要事項を記入し、正面・上半身・脱帽で、出願3ヶ月以内に撮影した、タテ45mm、ヨコ35mm（パスポート規格）の写真を貼ってください。 ※写真裏面には氏名、志望学科を記入してください。
	④	編入学受験票	本校所定の様式に、「記入上の注意」をよく読んで必要事項を記入し、写真票と同じ要領で、写真票と同じ写真を貼ってください。 ※ 受験票は、志願者本人に郵送します。
	⑤	入学検定料 [検定料払込通知書貼付票]	16,500円 振込受付期間：令和6年9月2日（月）～9月13日（金）16時 本校所定の振込書様式に必要事項を記入の上、最寄りの金融機関の受付窓口から振込み、「払込通知書（高専専用）」（ゆうちょ銀行の場合、「振込依頼書（お客さま控）」）を検定料払込通知書貼付票に貼ってください。 振込方法及び留意事項については、8ページを参照してください。
	⑥	特別活動等申請書	本校所定の様式に、志願者本人が記入し、 <u>担任の署名をもらってください。</u>
	⑦	受験票返送用封筒	<u>長形3号の封筒（志願者が用意）</u> に志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記し、354円分の切手を貼ってください。
作成するもの 在学学校が	⑧	所見書	本校所定の様式を用いて、欄外記載の（注）に従って在学（出身）学校長が作成し、厳封してください。
	⑨	調査書	在学（出身）学校所定の様式を使用してください（卒業見込者の第3学年の記録は、 令和6年8月30日（金） 現在で記入してください。）。
その他	⑩	日本留学試験結果	独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」の「成績通知書」の写し（2022年9月から2024年9月までに実施のいずれか）を提出してください。
	⑪	日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書	2022年第2回試験から、2024年第1回試験までに実施のいずれかの「日本語能力試験認定結果及び成績に関する証明書」を提出してください。

※ 外国の学校または機関が作成する書類が日本語以外の場合には、日本語訳を添付してください。

※ 各様式等は本校 Web サイト (<https://www.okinawa-ct.ac.jp/>) からダウンロードできます。

※ 2ページに記載の「Ⅲ 出願資格及び志望学科」（4）により出願する者は、⑩または⑪のいずれかの書類を追加で準備し、本校学生課教務係へ提出してください。

Ⅵ 出願上の注意

- (1) 出願手続後は、書類の返却及び記載事項の変更を認めません。また、納入済の検定料は返還できません。
- (2) 出願書類等に不備がある場合は受理できません。また、出願書類等に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- (3) 出願書類等を郵送する場合は、書留にし、「**編入学願書在中**」と朱書きしてください。

Ⅶ 選考方法

編入学者の選考は、学力検査の成績、提出された書類及び面接の結果により、総合して判定を行います。

- (1) 学力検査の教科名・出題範囲
 - (ア) 学力検査は、一般科目は筆記試験を、専門科目は口頭試問を行います。
 - (イ) 出題教科及び範囲は、次のとおりとします。

学 科		教 科	出 題 範 囲
一 般 科 目	各学科共通	数 学	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、 数学B（数列）、数学C（ベクトル）
		英 語	英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ
専 門 科 目	機械システム 工学科	専門科目 (口頭試問)	専門科目 工業数理基礎、機械設計、機械加工、 材料技術基礎、電子／電気回路 機械構造物にはたらく力、 機械設計にともなう強度計算、 機械加工法（機械材料）、直流・交流回路の基礎
	情報通信システム 工学科	専門科目 (口頭試問)	A：専門科目 情報技術の基礎、プログラミング技術、電気基礎、 電子回路、通信技術のいずれかを試験当日に選択 可能
		※AまたはBを 出願時に選択	B：理科 物理基礎・物理
	メディア情報 工学科	専門科目 (口頭試問)	コンピュータの基礎、セキュリティ技術、 ネットワーク技術、C言語プログラミングの基礎、 ハードウェアの基礎と構成
	生物資源 工学科	専門科目 (口頭試問)	生物基礎・生物、化学基礎・化学

(2) 評価方法

学力検査及び面接の配点は以下のとおりとなります。

学 力			面接	合計
共通科目		専門科目もしくは理科 【口頭試問】		
数学	英語			
1 0 0 点	1 0 0 点	2 0 0 点	1 0 0 点	5 0 0 点

(3) 選考日程

(ア) 検査日時及び実施場所

日時 令和6年10月12日(土) 9:00～

会場 沖縄工業高等専門学校 沖縄県名護市字辺野古905番地

(イ) 各学科の検査当日の日程

事 項	時 間
志願者集合	9:00～ 9:15
数学	9:30～10:30
英語	10:50～11:50
口頭試問 及び面接	13:00～

※ 情報通信システム工学科の口頭試問は、願書出願時に選択した科目
(専門科目または理科) となります。

VII 受験上の留意事項

- (1) 令和6年10月12日(土) 9時までに検査場に集合し、係員の指示に従ってください。なお、検査開始後20分を超えて遅刻した場合は、その教科の受験を認めません。
- (2) 受験票及び筆記用具を必ず持参してください。机上には受験票、筆記用具(HB程度の黒鉛筆またはシャープペンシル)、消しゴム、時計(計時機能だけのもの)以外は置くことができません。
- (3) 機械システム工学科の志願者は、関数電卓の持ち込みを可とします。(ただし、記憶機能のあるものは、持ち込み不可)
- (4) スマートフォンやタブレット端末、ウェアラブル端末等の電子機器類の面接室への持ち込みを禁止します。万が一持ち込んだ場合は、電源を切り、受付で預けてください。
- (5) 検査時間中は、やむを得ない場合を除き、検査室から退室できません。
- (6) 昼食は各自ご用意ください。
- (7) 上履きは不要です。
- (8) 受験のための宿舎の斡旋はしません。
- (9) 検査室に時計はありませんので、時計(計時機能だけのもの)を持参してください。
- (10) 服装は、文字や図形のプリントされたものを避けてください。

IX 判定結果の通知

令和6年10月18日(金) 付けの文書で本人に判定結果を通知します。

また、同日正午に本校のメディア棟玄関前に合格者の受験番号を掲示するとともに、本校 Web サイト (<https://www.okinawa-ct.ac.jp/>) に合格者の受験番号を掲載します。電話等による判定結果の照会には一切応じません。

X 入学確約書の提出

合格通知を受けた者は、令和6年11月18日(月) 16時(必着・郵送の場合も同じ) までに本校学生課教務係へ「入学確約書」を提出してください(休日・祝日は受け付けません)。

「入学確約書」を提出しない者は、本校に入学する意志がないものとして取り扱います。

XI 編入学の時期・年次、修業年限及び修学条件

- (1) 編入学の時期は令和7年4月1日とし、第4年次または第3年次に編入するものとします。
- (2) 編入した者の修業年限は2年とします。ただし、第3年次に編入した者の修業年限は3年とします。
- (3) 編入した者の高等学校において修得した単位については、審査の上、卒業に必要な修得単位に読み替えて、校長がこれを認定します。
- (4) 編入した者の本校の卒業に必要な最低修得単位数については、別途、教育課程表に基づき、卒業に必要な単位数を定めるものとします。
- (5) 履修する科目等については、入学後個別に指導します。

XII 検定料振込方法等について

1 振込方法（ゆうちょ銀行以外）

- (1) 検定料振込書の※印欄を黒の消えないボールペンで正確に記入してください。
【依頼日、依頼人（志願者）、志望学科、志望学科コード、住所】
- (2) 金融機関の受付窓口から振込み、ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。
- (3) 振込の際は、振込手数料を依頼人（志願者）が負担してください。
- (4) 金融機関窓口から「払込通知書（高専用）」を受け取る際は、取扱金融機関収納印を確認してください。
- (5) 「払込通知書（高専用）」は、検定料払込通知書貼付票に貼って、出願書類に同封して提出してください。

※ 本校所定の「検定料振込書」が使用できない場合

各金融機関備え付けの銀行振込依頼書で以下の振込先まで振り込んでください。また、「受領書の写し」を出願書類等に同封して提出してください。

振込先	琉球銀行 名護支店 普通預金 7 8 2 7 3 2
受取人	コクリツコウトウセンモンガッコウキコウ 独立行政法人 国立高等専門学校機構

振込依頼人氏名欄は、志望学科コード、志願者本人氏名（カタカナ）の順に記入してください。金額及び志望学科コードは「検定料振込書」で確認してください。

(例)	
1 ↑ 志望学科コード	コウセンタロウ カナ氏名

2 振込方法（ゆうちょ銀行の場合）

入学検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことが出来ますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- (1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。
ご利用の際は、『通帳とお届け印』または『キャッシュカード』が必要です。
- (2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は本校所定の振込依頼書を使用することは出来ません。
窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、記入いただく必要があります。その際、通知番号欄には、上記を参考に志望学科コードを記入してください。
- (3) 振込後は、「振替依頼書（お客さま控）」を受領し、検定料払込通知書貼付票に貼って、出願書類に同封して提出してください。

3 留意事項

- (1) 入学検定料が振り込まれていない場合、「払込通知書（高専用）」（ゆうちょ銀行の場合、「振込依頼書（お客さま控）」）若しくは「受領書の写し」が出願書類に同封されていない場合または「払込通知書（高専用）」に取扱金融機関収納印がない場合は、出願書類等を受理できません。
- (2) 既納の入学検定料は、原則返還しません。ただし、次の場合は返還請求ができますので、本校学生課教務係に問い合わせてください。なお、返還は振込にて行い、その際の振込手数料をご負担いただきますので、振込手数料を差し引いた金額での返還となります。
 - (ア) 入学検定料を振り込んだものの、出願しなかった場合
 - (イ) 誤って入学検定料を二重に振り込んだ場合

XIII 入学者選抜に関する合理的配慮の提供について

沖縄工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに本校学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることがありますので、入学願書提出期限の1ヶ月前までに、相談及び申請を行ってください。

必要に応じて、受験者、受験者の保護者及び在学（出身）学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入学者選抜の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討報告会（第二次まとめ）」によって示されている、1）障害者手帳の種別・等級・区分認定、2）適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3）標準化された心理検査等の結果、4）専門家の所見、5）在学（出身）学校等による支援状況に関する資料、6）本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※ 根拠資料に関しては提出の要・不要に関しても本校学生課教務係までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示した上で再提出を求めることがあります。

※ 本校学生課教務係の連絡先は、本ページ下部の「XV 入学志願についての照会」を参照してください。

（お願い）

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入学者選抜後または入学後に合理的配慮に関して初めて申請をなすと、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

XIV 個人情報の取扱いについて

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた検査成績・評価等の入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、必要に応じて次の目的にも利用します。

- （１）入学後の教育・指導
- （２）入学料、授業料の免除申請の審査
- （３）奨学金申請の審査
- （４）本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

XV 入学志願についての照会

編入学志願に関しご不明な点等ございましたら、以下の宛先までご照会ください。

〒905-2192	沖縄県名護市字辺野古905番地
	沖縄工業高等専門学校 学生課教務係
E-mail	gkyoumu@okinawa-ct.ac.jp
TEL	0980-55-4028
FAX	0980-55-4012

編入学のための学校案内

1 創 立

平成14年10月1日（学生受入は、平成16年4月から）

2 本校の目的

本校は、「教育基本法、学校教育法及び独立行政法人国立高等専門学校機構法に基づき、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成する。」ことを目的とした高等教育機関です。

3 編入学制度

高等学校の卒業者に対して本校第4学年または第3学年への編入学の門戸を開いて、より優れた工業技術者を養成するための制度です。

4 修 業 年 限

2年または3年

5 教 育 課 程

高専教育の特色は、実験・実習を重視した教育を行い、一般科目、専門科目が相互に関連づけられて、効果的に教育課程が編成されていることです。

なお、編入学生は第2学年または第3学年までの単位を既に修得したものとみなします。

6 学 生 寮

本校には、男子寮（定員408名）と女子寮（定員138名）があります。

本校の学生寮は単に通学の便宜を図るためだけではなく、「学習の充実を図り、基本的な生活態度や社会性を身につけ人間的成長を促進させる」ことを目的とした教育施設としての役割も果たしています。

カードキー、防犯カメラ、赤外線センサーなどの警備設備のほか、当直教職員2名が寮内の安全を保持しています。

※ 入寮について

毎年入寮希望者が多いため、必ずしも希望者が全員入寮できる訳ではありません。所定の入寮基準（通学の困難度等）により、入寮候補者を決定します。新入生（編入学生含む）と2年生は優先的に入寮することが出来ます。2年生以上の寮生が次年度も引き続き入寮を希望する場合は、所定の選考を経て、入寮の可否を通知します。

7 高等教育の修学支援新制度

令和2年4月から、本科4年生、5年生及び専攻科生を対象とした授業料等の減免及び給付型奨学金の支給が行われています。詳細については、文部科学省高等教育の修学支援新制度ホームページをご参照願います。

8 入学料・授業料・寄宿料の免除及び徴収猶予制度

「7 高等教育の修学支援新制度」の他、独立行政法人国立高等専門学校機構が設置する高等専門学校においては、入学料、授業料及び寄宿料の免除制度があり、本人の申請により審査の上、免除の許可を受けることができます。基準等は概ね以下のとおりです。

(1) 入学料について

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡し、又は風水害等の災害を受けた場合その他やむを得ない事由により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の全額若しくは半額を免除し、又はその徴収を猶予することがあります。

(2) 授業料について

免除算定基準日（原則として、前期の授業料にあつては4月1日、後期の授業料にあつては10月1日をいう。）前6月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）において学生の学資を主として負担している者が死亡し、又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合には、授業料の全額若しくは一部を免除することがあります。

(3) 寄宿料（学生寮）について

学資負担者が死亡した場合または寮生若しくはその学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、寄宿料の納付が著しく困難であると認められる場合には寄宿料の全額を免除することがあります。

9 奨学金制度

奨学金制度としては、学業・人物ともに優れ、経済的理由により就学が困難と認められる者に対しては、本人の申請により選考の上、奨学金の貸与を行う日本学生支援機構（JASSO）奨学金があります。（貸与額は令和6年度現在の金額のため、今後変更になる場合があります。）

年 次	第 一 種		第二種（有利子）ただし4、5年のみ
	自 宅	自宅外	
3	2 1， 0 0 0 円	2 2， 5 0 0 円	—
	1 0， 0 0 0 円		
4	4 5， 0 0 0 円	5 1， 0 0 0 円	2 0， 0 0 0 円から1 2 0， 0 0 0 円までの 1 0， 0 0 0 円単位の金額の中から選択
	3 0， 0 0 0 円		

※ 第二種奨学金… 有利子奨学金のことで本人が貸与月額（上記参照）を自由に選択することができます。

※ このほか、沖縄県国際交流・人材育成財団、地方公共団体等の奨学金制度があります。

10 入学後の所要経費

(1) 入学料、授業料その他の経費

項 目	金 額	備 考
入学料	84,600円	入学時
授業料	234,600円	年額（前期と後期の2期に区分して納付することになります。）
教科書・教材費	約58,000円	学年・学科によって異なる場合があります。
独立行政法人日本スポーツ振興センター共済掛金	770円	令和6年度年額（保護者負担分） 学校管理下における学生の災害に対し、医療費等の共済給付を行っており、本校では全学生が加入することとしています。

※ 雑費として、これ以外にも経費が必要になることがあります。

※ ノートパソコン（140,000円程度）を個人で準備していただきます。購入方法等については、本校 Web サイト及び入学手続き時にお知らせします。

※ その他、後援会費がありますが、詳細については別途後援会より案内があります。

(2) 学寮経費

項 目	金 額	備 考
入寮費	3,000円	入寮時（再入寮時には徴収しません。）
寄宿料（月額）	1人部屋 800円	
寮 費（月額）	寮管理費	4,300円 エアコンリース料、共有部分の光熱水費、備品等の修理・購入、消耗品費として徴収。
	居室の電気料	使用量に応じた分 居室の電気使用量に応じた料金を負担することとなります。
	食 費	約39,000円 食費は食事数により変動します。

※ 上記の金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

沖縄工業高等専門学校 位置及び交通機関

本島内から

- 「那覇バスターミナル～名護バスターミナル」間(系統番号 77)、または、「中部病院～名護バスターミナル」間(系統番号 22)の路線バスにて「沖縄高専入口」下車、徒歩 5 分。
- 自動車の場合は、沖縄自動車道「宜野座 I.C.」を出て国道 329 号を北に約 10km 左側。
(国道上の歩道橋が目印です。)

県外・離島から(空港からの所要時間:約 2 時間)

- 那覇空港国内線ターミナル到着 2 番バス停から系統番号 111「名護バスターミナル」行きに乗車。「^{ぎのぞ}宜野座 I.C.」下車、「中央公民館前」から系統番号 77「^{なご}名護バスターミナル」行きに乗り換え「沖縄高専入口」下車、徒歩 5 分。
- 那覇空港国内線ターミナル到着 2 番バス停から系統番号 117「オリオンもとぶリゾート」行きに乗車。「^{よふけ}世富慶」下車、歩道橋を渡り道路反対側より系統番号 77「^{なご}那覇バスターミナル」行きに乗り換え「沖縄高専入口」下車、徒歩 5 分。

